

平成 31 年度（2019 年度） 事業報告書

自 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日

至 令和 2 年（2020 年）3 月 31 日

1 教育事業

(1) PMF 2019 アカデミー教育

会期中の全期間、3つのプログラム（A、B、C）やリンクアップ・コンサートの開催などを通じて教育を行った。芸術監督ワレリー・ゲルギエフや首席指揮者マリン・オルソップ、第3代芸術監督クリストフ・エッシェンバッハが指揮したほか、PMF ヨーロッパ、PMF アメリカの教授陣が指導した。また、ヴォーカル・アカデミーはガブリエッラ・トゥッチが指導した。

（アカデミー教育内容）

- ・オーケストラ・リハーサル：セクション練習、全体リハーサル等
- ・室内楽リハーサル：グループごとに割り当てられた室内楽曲の練習と教授陣によるコーチング
- ・マスタークラス：楽器ごとの個別指導
- ・演奏会：成果の発表の場として、各演奏会に出演し演奏

(2) アジア・フェローシップ・プログラム

アカデミー参加者の増加が期待される東南アジア圏でクラシック音楽を学ぶ若手音楽家に、PMFでの経験や教育の機会を提供すべく設立したプログラム。ベトナム国立音楽院、マヒドル大学音楽大学、聖トーマス大学音楽院、マラ工科大学音楽学部から推薦を受けた若手音楽家4名が6日間に渡り、オーケストラ・リハーサル、演奏会の聴講のほか、アンサンブルを編成しPMF教授陣によるコーチングを受け、hitaru スペシャル・コンサート、オープンドア・コンサートで成果を披露した。

(3) PMF 2020 オーディション

昨年度以前と同様、世界的に普及しているインターネット回線を利用することで、幅広い国・地域から受験者を募集し、より質の高いアカデミー生を選抜するため、インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを実施した。

PMF 2020 においては、オーケストラ・アカデミーを次のとおり設置する。なお、ヴォーカル・アカデミーはプログラム構成の都合により休止する。

① オーケストラ・アカデミー

PMF 創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を実施する。芸術監督ワレリー・ゲルギエフや首席指揮者マレク・

ヤノフスキらが指揮するほか、PMFヨーロッパ、PMFアメリカの教授陣がアカデミーの指導にあたり、主にオーケストラ・プログラムの教育を行う。PMFでは初となる本格オペラ公演に取り組むほか、オーケストラ演奏会、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を発表する。

オーディション結果（2020年3月23日発表）

オーケストラ・アカデミー合格者数 72名（受験者：1,212名）

出身国・地域の内訳（27カ国・地域）

アメリカ（21）、日本（12）、韓国（10）、中国（4）、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、スイス、台湾（以上各2）、オーストリア、チリ、香港、ハンガリー、マレーシア、オランダ、ニュージーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、セルビア、スロベニア、スペイン、台湾（以上各1）

※ なお、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、PMF2020の開催を中止したが、オーディション合格者は、PMF2021に参加する権利を付与することとした。

2 演奏会事業

PMF2019では、札幌市内、北海道各地、東京、川崎で、計54公演を行った（2019年7月6日～8月2日、来場者36,600名）。

今回は、PMFの創設30回を記念した特別企画を実施した。7月20日、21日に行った「プレミアム・コンサート」では、第3代芸術監督クリストフ・エッセンバッハを迎え、札幌市内で合唱などの活動を行う市民や音楽専攻生ら約460名で大合唱団と、世界各地で活躍するPMF修了生15人、アカデミー生、教授陣による特別編成のオーケストラが、マーラーの交響曲第8番変ホ長調を演奏。また、2018年に完成した札幌文化芸術劇場 hitaruにおいて特別公演を実施した。さらに、オーケストラ演奏会の東京公演では、上皇・上皇后両陛下がご臨席いただく栄誉を賜り、第30回記念のPMFを締めくくる大きな出来事となった。

PMF2019の実施概要は以下のとおり。

・開催地別

札幌市内：47公演

北海道内（札幌市外）：5公演（苫小牧市、函館市、江別市、奈井江町、幕別町）

東京都内：1公演

神奈川県内：1公演

・種別

オープニングコンサート：1公演

オーケストラ演奏会：4公演

ホストシティ・オーケストラ演奏会：1公演

リンクアップ・コンサート：1公演（音楽普及事業）

室内楽演奏会：12公演

アウトリーチコンサート：19公演

フリーコンサート／オープンドア・コンサート：1公演
GALAコンサート：1公演
ピクニックコンサート：1公演
プレミアム・コンサート：2公演
hitaru スペシャル・コンサート：1公演
オーケストラ過去の名演上映会：2公演
エッシェンバッハ&カラパノス デュオリサイタル：1公演
公開マスタークラス：5公演（音楽普及事業）
ボランティアコンサート：2公演（札幌市立豊成養護学校、市立札幌病院）

3 音楽普及事業

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供し、クラシック音楽の普及を図る取組みとして、以下のとおり実施した。

(1) オープンリハーサル

PMFオーケストラ・アカデミー、ヴォーカル・アカデミーのリハーサルやゲネプロ（本番直前の全体リハーサル）を一般に公開するプログラム。今回から入場料を無料とし、世界で活躍するアーティストがPMFアカデミー生に指導する様子や、本番に向けた音楽づくりを聴講できる機会を提供した。参加者は7日間で延べ298人（うち音楽教育関係者、学生47人）。

(2) PMFリンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールとの連携により、PMF2013からスタートした小学生向けの音楽教育プログラム。事前に小学校の音楽科学習のカリキュラムに組み込み、授業で学んだ歌やリコーダーの演奏によりPMFオーケストラと共演する参加型コンサートとして実施した。参加児童は札幌市内小学校9校の小学6年生707人。

(3) PMF教育セミナー

PMFの創設30回を記念し、第1回のPMF以降29年ぶりに参加したマリン・オルソップを迎え、音楽評論家の山田治生氏を司会・進行役に公開トークを実施した。バーンスタイン晩年の弟子として指導を受けたマリン・オルソップに、バーンスタインとの出会いや教え、現在音楽監督を務めるオーケストラの本拠地での音楽普及活動等、様々な話題についてトークしていただき、客席との質疑応答も実施した。参加者は80人。

(4) PMFアメリカ・メンバーによる吹奏楽セミナー

世界一流のオーケストラであるメトロポリタン歌劇場管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団のメンバーが、北星学園大学附属高等学校の吹奏楽部を対象に実施した。参加者は、同校の吹奏楽部部員45人。

(5) オーケストラ訪問リハーサル

PMFアメリカ教授で指揮者のダニエル・マツカワが、藤女子中学校・高等学校オーケストラ部のリハーサルを訪問し、指導を行なった。

(6) 公開マスタークラス

PMF教授陣が北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その模様を一般に公開する公開マスタークラスを昨年引き続き実施した。今回は、札幌大谷大学や北海道教育大学岩見沢校からの推薦による学生を対象にPMFの教授らが指導を行った。

(7) ユース・ウイング席の設置、U25割引の実施

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から概ね25歳（1994年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホールKitara、札幌文化芸術劇場 hitaru で開催したオーケストラ3公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供。また、U25割引（ピクニックコンサートは芝生席無料）を引き続き実施し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供した。

(8) 修了生によるミニ・コンサート

会期外においてもPMF事業の露出を高めるため、札幌市内と首都圏におけるショッピングモールやレセプションなどでミニコンサートを実施した。計40回実施（コロナウイルスの影響により2回中止）。

(参考) 理事会及び評議員会の開催実績

理事会

実施日	種別・開催地等	議案	結果
2019/6/4	第1回定時理事会 (札幌)	1 2018年度事業報告 2 2018年度決算報告及び監査報告 3 2019年度補正予算 4 教育・演奏会事業安定積立金の取崩し 5 顧問の選任 6 定時評議員会の開催	承認 承認 承認 承認 承認 承認
2019/7/22	第1回臨時理事会 (書面)	1 理事の選任 2 顧問の選任 3 臨時評議員会の開催	承認 承認 承認
2019/11/27	第2回臨時理事会 (書面)	1 顧問の選任	承認
2020/3/13	第2回定時理事会 (札幌)	1 2020年度事業計画 2 2020年度予算 3 周年事業等特定費用準備資金の取崩し 4 顧問の選任 5 臨時評議員会の開催	承認 承認 承認 承認 承認

評議員会

実施日	種別・開催地等	議案	結果
2019/6/24	定時評議員会 (札幌)	1 2018年度事業報告及び決算報告	承認
2019/7/25	第1回臨時評議員会 (書面)	1 理事の選任	承認
2020/3/23	第2回臨時評議員会 (東京)	報告事項のみ	